

## 特別寄稿

### 退任に際して「倉敷と私」

杉原 尚

川崎医科大学 血液内科学

Takashi SUGIHARA

*Department of Hematology, Kawasaki Medical School*

私は昭和47年川崎医科大学3期生として入学以来米国留学の3年間を除くと、42年間ここ川崎医科大学で過ごしました。ことさら倉敷とのつながりは強く、学生時代に倉敷の若者と一緒に倉敷の町を盛り上げる活動をしていたのが思い出されます。この紙面を借りて、当時とても活気があるとは言えなかった倉敷の町中で、倉敷JCの若者と倉敷を盛り上げるために活動したことを残したいと思います。当時の若者達の記録が何処にもないのでこの紙面をお借りします。

倉敷JCとは、Junior chamber Kurashiki；倉敷青年会議所のことで、20歳から40歳までの青年で構成されている団体で、わがまち「倉敷」の未来のためという活動を行っている団体です。メンバーは、建設業、小売・販売業、サービス業、教育福祉業、銀行業、不動産業、士業など様々で、当時は主に同年代の倉敷商店街の方々でした。

出会いは若者同士ですから、昼は喫茶店。当時商店街の末にあった「らてん区」で、夜は「居酒屋」という狭い飲み屋でした。互いに仲良くなり商店街の若者を「JC」と呼び、我々は「Kawasaki Mafia」と名乗りました。倉敷を愛する2期、3期生を中心とした十名足らずでした(図1)。興が乗じてグッズまで作りました。良い記念として残っています(図2)。特に印象

に残る出来事を思い出として残します。



図1：Kawasaki Mafiaの初期メンバー。右から2人目が私。



図2：Kawasaki Mafiaの封筒、便箋、メンバーカード

### 倉敷千歳楽の復興

今でこそ美観地区を中心にした倉敷の祭りには神輿、素隠居が有名ですが、私が学生の時は昭和30年代に途絶えて久しい状況でした。千歳楽というのは、この地方のお祭りに担がれる神輿のようなものです。倉敷の千歳楽のはじまりは、元禄のはじめと言われており、長年受け継がれ、倉敷のお祭りの代表として地元の人に愛されたとのことでした。しかし受け継ぐ若者が減り、町の衰退もあり、ついには昭和30年代に途切れてしまったとのことでした。

昭和47年、現在の二葉写真館の原淳二氏、「JC」を中心に、もう一度倉敷千歳楽をとという願いで「倉敷千歳楽保存会」が立ち上がりました。「原の淳ちゃん」と呼んでいましたが。しかしながら神輿を復興するには人手が足らず、日頃仲の良かった「Kawasaki Mafia」に声が

かかりました。大学のこともありましたが、元気があった我々は意気に感じ、お手伝いすることを決めました。股引き、腹掛けという衣装の着方を学び、練り歩く際に歌う「倉敷千歳楽の歌」を必死に覚えました(図3)。私は、前夜祭に触れ太鼓を担ぎ美観地区の倉敷川沿いを歩きました。担ぎ手の後ろが当時の私です(図4)。当日には神輿を担ぎました。旧中国銀行倉敷支店から美観地区に繋がる細道で、後ろの方で担いでいるのが私です(図5)。斯くして倉敷千歳楽は見事に復興し、今では倉敷の祭りは多くの人で大変賑やかになりました。これを見るたびにあの時の事が思い出されます。

### Kurashiki carnival開催

現在の倉敷アイビースクエアがオープンしたのは、昭和49年のことです。そのオープンの際

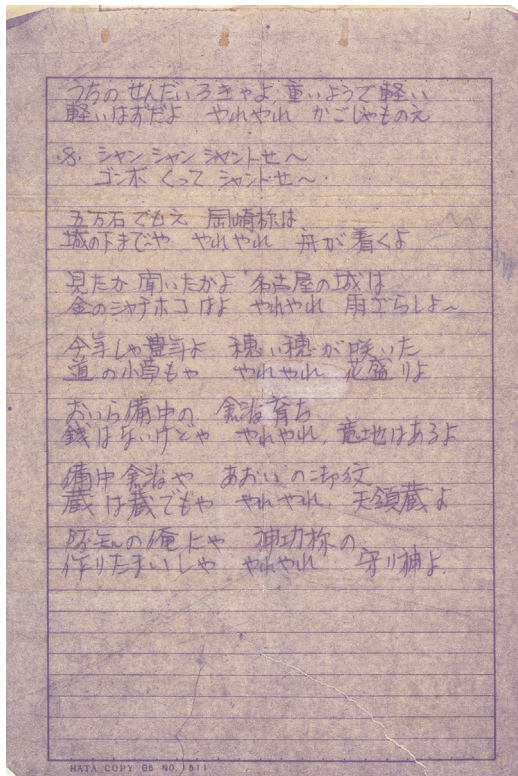


図3：「倉敷千歳楽の唄」の歌詞

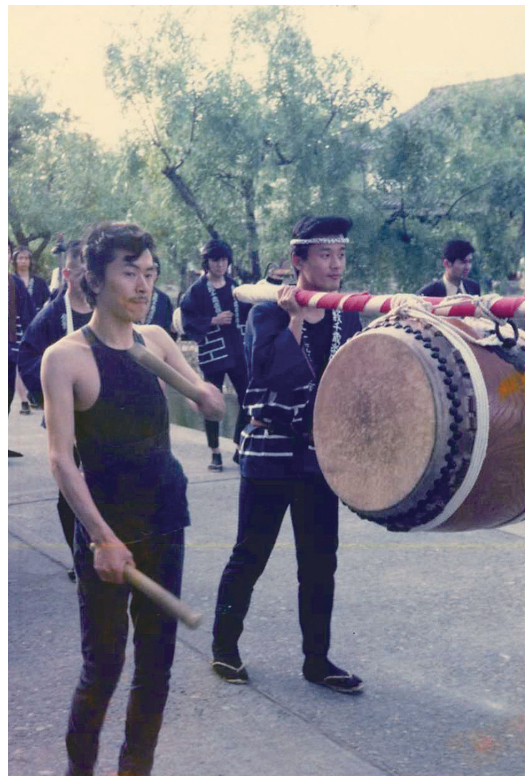


図4：倉敷祭り前夜祭での触れ太鼓



し「JC」と「Kawasaki Mafia」はアイビースクエアの中庭でKurashiki carnivalを主宰しました。Carnivalといえば聞こえは良いですが、いわゆるダンスパーティです。このきっかけとなったのは、倉敷アイビースクエアの初代支配人が、小川さんといって奇しくも私の高校の先輩だったことです。我々の持ち込んだ、倉敷を盛り上げるという企画を理解、承諾して下さいました。その時のポスターは残っていません

が、記念カードと荷物預かり札（図6）が残っていました。出演は、今も活躍中である倉敷の「カウントハードジャズオーケストラ」、「JC」のロックバンド、大学を代表して「Kawasaki Mafia Rock Band」でした。当日のカウントハード（図7）、Carnivalの様子です（図8、図9）。思い出すのは、有料で開催したので後に、回収チケットをもって税務署に出向き大変だったことです。



図5：倉敷千歳楽の神輿



図7：Kurashiki carnivalの時のカウントハード



図6：Kurashiki carnivalの記念カードと荷物預かり証（No1が私のです）



図8：Kurashiki carnival受付



図9：Kurashiki carnivalの様子

#### 親善スポーツ大会

お互いの親睦のため、定期的に開催しました。ボーリング、ソフトボール、野球などです。写真は、川崎医科大学のグラウンドを借りて行った「JC」vs「Kawasaki Mafia」の一場面です（図10）。

これらの活動は、医大生による町おこしとして、婦人画報社の今も絶版にならず月刊誌として出版されている「MEN'S CLUB」に特集として取材を受け、掲載されました。現物が残っておらず、ご覧に入れられないのが残念です。

随筆の様になりましたが、「倉敷と私」と題して、倉敷で43年間も暮らすようになったきっかけを記しました。これからも倉敷が益々発展し、川崎医科大学がその一翼を担っていくことを願っています。



図10：ソフトボール大会  
（倉敷JC vs Kawasaki mafia）

#### 参考文献

- ・公益法人倉敷青年会議所 - JCI Kurashiki (<http://kurashiki-jc.or.jp>)
- ・倉敷千歳楽史（発行：倉敷千歳楽保存会実行委員会）
- ・倉敷千歳楽保存会（[http://www.geocities.jp/kurashiki\\_senzairaku/](http://www.geocities.jp/kurashiki_senzairaku/)）